

講師に『にいみ木のおもちゃの会代表』の藤本忠男先生をお招きし、幼児クラスの異年齢や保護者の皆様とともに、いろいろなあそびのコーナーで、あそびが学びの宝庫であることをともに体験していただきました。地域のボランティアの皆様 10 名のご協力もあり、保育園を知っていただく機会にもなり、新たな交流の場が生まれました。

- ・木を組んで(クムンダー) ジャングルジムを作る発想に驚かされました。家でもDIYで子ども達のために遊具を作ってみようと思いました。(3 歳児)
- ・最近、子どもに対してイライラすることが多く反省していました。一緒にダンスを踊ったり遊んだりして、心から笑って一緒に楽しい時間を共有できたのが良かったです。もっと子ども達に向き合う時間を作りたいと思いました。(3 歳児)
- ・保育園全体がテーマパークのようにワクワクするものがたくさんで時間一杯楽しむことができました。(4 歳児)
- ・木のおもちゃ、科学あそびでは、子どもの創造力、表現力がみられたので楽しかったです。鉛筆のくし刺しコーナー(水の入ったナイロン袋に鉛筆を刺す→水が出ない)では、子どもと協力して作られたので良かったです。(4 歳児)
- ・「こんなに楽しそうなのにやらずにはもったいない!」と思えるくらい大人もワクワクしながら楽しませていただきました。全て一から作り出すあそびの中に、面白さや新たな発見、挑戦などがあって「できた!」という満足感がしっかり感じられました。(5 歳)
- ・木のジャングルジムを子ども達が協力して取り組む姿が見られて、とても成長を感じました。一つのことをみんなで協力してやり遂げることができ良かったです。小さい子(2 歳児)も一緒にあそびコーナーもあり、きょうだいで仲良く遊んでいました。(5 歳児)

【講師の藤本先生やボランティアの皆様へ】(抜粋)

・どのあそびも子どもの「なんでだろう?」「どうしたらいいんだろう?」と好奇心を刺激したり、その想いをあそびながら確かめることができたので、親子とも楽しい時間を過ごすことができたり、各コーナーにあそびをフォローしてくださる方々がいたので、安心してあそびに没頭することもできました。

【人気コーナーベスト3】 子ども達 ①クムンダー(木のジャングルジム) ②シェーピングスライム③バブ(入浴剤)ロケット  
保護者①バブロケット②クムンダー③どでかシャボン玉



令和6年 3月の保育園だより



坂みみょう保育園



『子ども達のよき理解者として』  
～できた・楽しい・もっとやりたい～

三寒四温を繰り返しながら、春が目の前にやってきています。3 月は旧暦で「弥生(やよい)」。弥生の語源は草木の芽吹く「いやおい」から「やよい」となった説が有力だと言いますが、子ども達の成長もまさに草木が芽吹くごとく勢いを感じます。

先月幼児クラスの「あそびの広場」と題して保育参観を開催いたしました。実体験、物づくり、科学実験などのコーナーをホール、保育室、園庭に分け、ご家族で自由に選んであそびの体験をご家族でしていただきました。保護者の皆様からは、「成長を感じた。」「未入園の下の子も楽しめた。」「もっと時間が欲しかった。」「楽しむ・笑うことの大切さを改めて感じた。」などいろいろな感想が寄せられました。(左の欄も参照)

中でも子ども達も保護者の皆様も小学生にも人気のあそびが、クムンダー(木のジャングルジム)、バブロケット(炭酸ガスの入浴剤を利用したフィルムケースロケット)、どでかシャボン玉などでした。

特に年長さんは自分達で協力しながら(保護者やボランティアさんとともに)作って、完成の喜びを味わった後、自分達で解体し、木の長さごとに片付けることも体験し達成感も味わったようでした。

一方科学あそびとしては、どでかシャボン玉やバブロケットが人気でした。水の量や技も必要となり、何度も挑戦しながら周りの人からも大きな拍手をいただいた子ども達がたくさんいました。微調整したり、工夫したり、考えたり、もっと大きく、もっと高くなど、創意工夫も見られるあそびは保護者の皆様も子ども達同様に真剣に取り組まれておりました。

講師の藤本先生は、木育(地域の木材使用)による地域活性化活動を行われている方でたくさんの木のおもちゃは小さな子ども達の心を虜にしていたようです。保護者の皆さんの中には、皿回しやけん玉にはまっていた方もおられましたし、木のほのかな匂いや感触に、「落ち着きます。」と感想を述べられた方もおられました。

大人が夢中で遊ぶ姿は子ども達の刺激に

もなりましたし、講師の先生や地域のボランティアの皆さん、養成校の学生さんなどとの交流は、心温まる場面がたくさんありました。

幼児クラスになると、子ども達の好奇心や探究心は尽きません。あそびを選んだり、簡単にはできないことを粘り強く挑戦したり、一つの目標に向かって友だちと協力したりする姿が見られるようになります。子ども達なりに相談したり交渉したりできるようにもなります。温かな眼差しで、地域のボランティアの皆さんやご家族に見守られているという安心感が、より子ども達の好奇心や探求心を増す結果になったのではないかと思います。

人間の能力には、認知能力と非認知能力があるそうです。一般的に知能検査などで測定できる力を認知能力、主に意欲、自信、忍耐、自立、自制、協調、共感などの心の部分である能力のことを非認知能力と言います。認知能力もちろん必要ですが、非認知能力は、乳幼児期を土台に学童期に渡って育てたい「人生を豊かにする力」であり「将来に渡って幸福な人生を自ら切り拓く力」です。

子ども達が没頭したり挑戦できる環境(保育室・園庭など)を作ったり、自分の考えを表明して言葉で伝えたり(個人対個人)、相手の気持ちに耳を傾けたり(サークルトークなど)するを通して、職員も一年間試行錯誤して参りました。まだまだ十分ではなく、保護者の皆様にも子ども達の発見や挑戦や創意工夫に、心を寄せて下さることが、今後は重要になるものと考え今回のような保育参観の形(あそびの広場)を企画致しました。

体験の中での保護者アンケートの感想は、まさにもう実践してくださっている方が多いということをお話していると実感いたしました。保護者の皆様の笑顔が素敵でした。ともにあそぶ姿勢がまた素敵でした。子ども達のよき理解者でいてくださることが、子ども達の今後の成長にはとても重要なことです。

年長さんの卒園の日はもうすぐです。年中、年少、乳児さん(0, 1, 2 歳)の進級まで残り一ヶ月となりました。職員も子ども達のよき理解者として、異年齢の交流ができる環境作りをし、目には見えない心の交流ができるよう、思い出に残る生活やあそびで一年を締めくりたいと思います。(園長)

卒園式 3/16(土) 10時～正午

今年度の卒園式をご来賓をお招きし、年長児とご家族の参加をお願いして開催を致します。なお、在園の参加はありません。きょうだいのおられる場合は、終了まで保育をいたしますので、担任までお知らせください。

卒園式会場内では、年長児、職員ともにマスク着用はいたしません。保護者の皆様につきましては、健康状態に合わせ、それぞれのご判断にお任せ致しますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

園時間 午前9時～9時15分まで  
送迎以外の駐車はできません。  
開式 午前10時～10時45分  
懇親会 午前11時～11時45分



詳しくは別紙で配布いたします。

園外保育 (当日は愛情弁当のご協力)

・年長児(ふじ組・ひまわり組) 3/6(水)

登園時間 午前8時15分～8時30分

小屋浦みみょう保育園の年長児さんと合同で、おわかれ遠足(さくらんぼ会の費用で大型バス利用)を計画しています。坂町民センター前まで徒歩で歩き、乗車しますので登園時間は厳守です。

場所: 広島市安佐動物公園

雨天の場合に備え雨具(レインコート等)の準備をお願い致します。詳しくは年長児クラスの3月のクラスだよりをご覧ください。

・2歳児(さくら組・小屋浦合同) 3/8(金)

場所: 焼山公園・小屋浦みみょう保育園

園バスとレンタカーを利用します。出発は保育園前からですが、登園時間の午前9時を厳守してください。(小屋浦みみょう保育園でお弁当)

